

魅力度向上対策特別委員会記録

| | | |
|----------------|---|---|
| <p>1 会議の日時</p> | <p>開 会 午前 9 時 5 5 分 令和 4 年 1 0 月 5 日 閉 会 午前 1 1 時 1 5 分</p> | |
| <p>2 会議の場所</p> | <p>議会西棟 3 階第 1 会議室</p> | |
| <p>3 出席者</p> | <p>委 員</p> | <p>委員長 玉 田 和 浩 副委員長 伊 藤 秀 光 委員 村 下 貴 夫 野 村 美 穂 布 俣 正 也 伊 藤 英 生 澄 川 寿 之 平 野 恭 子 平 野 祐 也 小 川 祐 輝 森 益 基</p> |
| | <p>執 行 部</p> | <p>別 紙 配 席 図 の と お り</p> |
| <p>4 事務局職員</p> | <p>主査 水 谷 昭 之 主任 脇 若 知 香 子</p> | |

| 5 会議に付した案件 | |
|--------------------------------|-------|
| 件名 | 審査の結果 |
| 1 魅力度向上対策特別委員会中間報告に対する対応状況について | |
| 2 その他 | |

6 議事録（要点筆記）

○玉田和浩委員長

ただいまから、魅力度向上対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、昨年3月に知事へ提言した魅力度向上対策特別委員会中間報告に対する対応状況について、執行部の説明を聴取するため、開催したものである。

今回のフォローアップを通して、必要な施策を令和5年度当初予算へ反映させるなど、より一層の県内の魅力度の向上を図られるようお願いする。

委員の皆様におかれては、執行部の対応状況に関して、積極的にご意見をいただくようお願いする。

なお、本日の執行部の説明員の出席については、昨年3月の中間報告の提言内容を担当する部局を中心に、出席いただいているので、ご承知おき願う。

それでは、魅力度向上対策特別委員会中間報告に対する対応状況について説明をお願いする。

質疑は説明終了後をお願いする。

（執行部 挨拶・説明）

○玉田和浩委員長

説明に対する質疑はあるか。

○布俣正也委員

農村地域におけるワーケーションモニタープランの内容は。

○副島農村振興課管理調整監

今年度は2種類のモニタープランを実施した。1つ目は仕事をしながらジビエ体験などの農林漁業体験を行うもの。2つ目は野菜の収穫の手伝いなどのボランティアを行うもの。現時点の応募状況は、1つ目が200泊の募集に対し140泊程度、2つ目が48泊の募集に対し30泊程度である。

○布俣正也委員

どのような種類の宿泊施設が選択されているのか。

○副島農村振興課管理調整監

農泊や旅館など様々な施設が選択されている。

○布俣正也委員

参加者の感想はどうか。

○副島農村振興課管理調整監

昨年度の参加者アンケートでは、「のんびりできた」「地元の方と触れ合えた」など、ほとんどの方から満足との評価を得た。改善点として、昨年度は仕事と農林漁業体験の時間帯を固定した行程で実施したが、「自由度が低い」との意見があったため、今年度は行程が選択できるセミオーダー型で実施している。

○布俣正也委員

ハラール認証のメリットとデメリットは。

○高木農産物流通課長

メリットとしては、世界の人口全体の約4分の1を占めるイスラム圏を対象に輸出できるため、飛騨牛の輸出量増加が期待できる。デメリットとしては、県内にハラールに則った、と畜処理施設がないため、徳島県の「にし阿波ビーフ」に持ち込む必要があり、その手間や費用がかかる。

○布俣正也委員

ハラール認証に関する研修会は行っているのか。

○高木農産物流通課長

ハラール認証を受けた施設でと畜する農家に対しては、ハラール用に肥育する場合、アルコールを使

用した飼料を使うことができないため、十分に注意するよう随時指導している。

○野村美穂委員

観光部局は、博物館や美術館など岐阜関ヶ原古戦場記念館以外の県有施設における土産物開発に関わっているのか。

○北村観光資源活用課長

岐阜関ヶ原古戦場記念館を中心とした観光施設に注力しているのが現状だが、今後は県博物館などの施設でも観光資源となり得るものがあれば、連携した取組が出来ないか検討したい。

○野村美穂委員

県営公園も観光資源として認識しているが、本県の魅力向上に向けてどのように活用していくのか。

○清水都市公園課長

県営公園の来園者数はピーク時の令和元年度には約774万人と、県の観光入込客数全体の15%程度を占めており、県の魅力度向上に資するコンテンツである。また、土産物に関しては、個々の都市公園にちなんだ製品の開発・販売に注力している。加えて、養老公園では岐阜関ヶ原古戦場記念館のPRなど、周辺の観光施設との連携を進めており、県営公園を県の玄関口と捉え、本県の魅力向上に取り組みたい。

○野村美穂委員

アクア・トトぎふでは来館者が入場する際に記念撮影して、帰る際にそれを販売する取組を行っているが、他の施設で同様の取組はあるか。

○清水都市公園課長

アクア・トトぎふ以外の県営公園では実施していないが、来園者にとって記念となる土産物の販売に取り組んでおり、観光消費の拡大に寄与している。

○河田文化伝承課長

高山陣屋など、当局が所管する文化施設では記念撮影などの取組は実施していない。来館者のニーズやコストを踏まえた検討が必要と考える。また、土産物に関しては、岐阜関ヶ原古戦場記念館や宇宙博等のショップを参考に、県博物館等のミュージアムショップの魅力向上に取り組んでいる。

○吉村観光資源活用課関ヶ原古戦場活用推進室長

岐阜関ヶ原古戦場記念館においては、合成技術を利用した記念写真撮影を無料で実施しているほか、記念館を背景とした写真撮影スポットを設けている。

○野村美穂委員

先ほどの「3Dバーチャル美術展」の動画は45秒間だったが、他には何秒間の動画が用意されているのか。

○大川文化創造課長

ご紹介した動画はプロモーション用に作成したものであり、実際は、観覧者自身が手元で画面を操作することで、美術展内の展示物を時間制限なく自由に観覧することができる。

○平野祐也委員

3Dバーチャル美術展について、県美術館ホームページに掲載されていない。他方、他のデジタル関係の取組は掲載されているので、告知方法を統一してはどうか。

○大川文化創造課長

告知方法の統一を検討する。

○平野祐也委員

県内にグランピング施設が相次いでオープンしているが、県として、地域の観光事業者とどのように連携しているのか。

○渡部観光企画課長

現在、県観光連盟においてキャンプ場関連情報を発信している。恵那市でグランピングがオープンす

るなど、徐々に広がりを見せていることから、今後は、グランピング関連情報も発信していきたい。

○清水都市公園課長

養老公園では、既存のキャンプ場とゴルフ場をリノベーションし、10月7日から「RECAMP養老」がフルオープンする。11月までの土日は予約でいっぱいの状況であり、改めてキャンプ人気の高さを感じている。今後は、利用者の周遊観光に向け、指定管理者とも連携したPRに努めたい。

○森益基委員

3点確認したい。まず1点目、東京や大阪における県産材の展示会の出展頻度は。2点目、木材関係事業者が行う展示会等への取組支援の内容及び支援制度の周知先は。3点目、県外新築住宅への補助金の内容は。

○古沢県産材流通課木造建築推進室長

1点目については、9月に東京都内の住宅資材展示施設で県産材製品の展示会を開催したほか、11月には初めて大阪の展示会に出展する予定。さらに来年1月には東京で開催される東京都主催の国産材製品展示会に出展する予定である。

2点目については、事業者に対して、展示会出展、VR技術やWebを活用した営業活動、新規用途開発等を支援している。また、支援制度は、木材団体や過去に取組を行った事業者に周知している。

3点目については、県外の新築住宅1棟当たり20万円、60棟に対し補助を行うもの。

○森益基委員

展示会来場者からの県産材製品に対する評判は。

○古沢県産材流通課木造建築推進室長

9月の展示会におけるアンケートでは、「東濃桧の内装材は品質が良かった」「東濃桧のサウナは東京都内では難しいが別荘でぜひ設置したい」「粒状のヒノキを使った枕もぜひ使ってみよう」との声があり、展示製品は高評価であった。

○森益基委員

森林や木材を使った取組を行うことで、本県への集客につなげるべきでは。

○古沢県産材流通課木造建築推進室長

展示会に出展した際には、本県のPRを工夫して行き集客に努めていく。

○森益基委員

新県庁舎でもヒノキが使用されているが、木材は無数の可能性がある。木の国・山の国として、県産材の魅力向上に向けて注力いただきたい。

○小川祐輝委員

外国人観光客の入国規制が緩和されたが、岐阜県のWebサイト上や現地ではどのような反応があったのか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

水際対策緩和の発表以降、海外からの県のWebサイトへの流入数は増加傾向にある。先日、本県へ取材に来たイタリア人インフルエンサーが情報発信した際も多くの反応があり、海外からの関心は高まりつつあると感じている。今後は、航空便が増加している関西、関東の空港とも連携しながら誘客を促進していく。

○小川祐輝委員

観光地側の受入準備は進んでいるのか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

2022年の「世界の持続可能な観光地トップ100選」に下呂市・下呂温泉が選出されたところであるが、本県においては、サステイナブル・ツーリズムのプロモーションや官民連携でのデジタルマーケティングに取り組むなど、インバウンドの本格再開に向けた準備を着実に進めている。

○村下貴夫委員

DMO強化事業費補助金の内容は。

○池戸観光誘客推進課長

県観光連盟への補助金であり、観光マーケティング機能の強化、滞在型コンテンツの整備・販売促進、人材育成及びぎふ旅コインによる観光消費拡大などを実施している。

○村下貴夫委員

県内にDMOはいくつあるのか。

○渡部観光企画課長

県観光連盟のような複数市町村を活動対象とする「地域連携DMO」が3つ、単独の市町村を活動対象とする「地域DMO」が5つの計8つある。

○村下貴夫委員

DMOとなるメリットは何か。

○渡部観光企画課長

国の支援メニューが利用しやすくなるほか、法人の基盤強化につながる。

○村下貴夫委員

そのようなメリットがあるのであれば、県としても登録を促進しては。

○渡部観光企画課長

登録を希望する法人があれば支援していく。

○村下貴夫委員

ウッドショックで木材が輸入しづらい状況にあるが、県産材輸出への影響は。

○古沢県産材流通課木造建築推進室長

昨年度は、輸入材が不足したことから県内事業者は国内向けの対応に迫られたことで輸出量は減少した。今年度はまだ把握していない。

○村下貴夫委員

木材輸出は積極的に進めてほしい。ウッドショックの影響により木材価格が高騰し、木材事業者は利益を上げていると聞く。今のうちにウッドショック後の対策を取ってはどうか。

○古沢県産材流通課木造建築推進室長

今後、コロナが収まってくれば海外との往来が戻り、物の流れも良くなると想定しているため、木材輸出に取り組む事業者と連携して対策を取っていきたい。

○澄川寿之委員

ドライブツーリズム推進事業費の対象に二輪車は含まれるのか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

本日、専用Webページで情報発信を開始した訪日外国人向けのドライブ映像の中には、オートバイの映像もあり、二輪車も対象としている。

○伊藤秀光副委員長

下呂市が岐阜女子大学と連携してメタバースに取り組んでいるが、県はどこまで把握しているのか。

○加藤観光誘客推進課観光誘客企画監

メタバースについては、下呂市及び下呂温泉観光協会から手探りで取り組んでいると伺っている。

○玉田和浩委員長

質疑も尽きたので、これをもって魅力度向上対策特別委員会中間報告に対する対応状況の説明聴取を終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はないか。

(発言する者なし)

意見もないようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

魅力度向上対策特別委員会 配席図

令和4年10月5日(水)午前10時～
議会西棟第1会議室

出入口

| | | | | | | | | |
|--|--|--------------------------|--|----------------------------|--|-------------------------------------|--|------------------------|
| 文化伝承課 全国高等学校総合 文化祭推進監 林孝美 | | | | | | | | 里川振興課 桑田空長 知宣 |
| 文化創造課 国民文化祭・全国障害 芸術・文化祭推進監 田中康宏 | | 文化創造課 芸術文化企画監 高井哲也 | | 観光誘客推進課 観光企画推進課 加藤英彦 | | 農政課 農業研究企画 後藤功一 | | 農村振興課 管理調整監 副島洋子 |
| 県産材流通課 木造建築推進室長 古沢弘康 | | 観光誘客推進課長 池戸克成 | | 観光資源活用課長 北村和弘 | | 観光資源活用課 関ヶ原古戦場活用 推進室長 吉村竜一 | | 里川振興課長 金武雅人 |
| 文化伝承課長 河田哲也 | | 県産品流通支援課長 浦崎宏幸 | | 観光企画課長 渡部達弥 | | 都市公園課長 清水浩二 | | 農産園芸課長 大橋薫子 |
| 森林活用推進課長 城戸脇研一 | | 文化創造課長 大川敦 | | 観光国際局長 丸山淳 | | 観光国際局副局長 堀智考 | | 農産物流通課長 高木賢二 |

出入口

出入口

傍聴席

小川委員
平野(恭)委員

伊藤(英)委員
野村委員
伊藤(秀)副委員長

布俣委員
村下委員
玉田委員長

森委員
平野(祐)委員
澄川委員

議会事務局

スクリーン

議会事務局